

にしーのイベント報告《ベル出張陶芸体験イベント》12/22(日)

県内の小学校もいよいよ冬休みが始まりました！！
そして、楽しいクリスマスも近づいてきています♪

これは、やるっきゃない！ということでまたまたショッピングシティベルで出張の体験イベント開催。

これで今年のイベントは最後です。



またまた電動ろくろの体験コーナーとマーカールの絵付け体験。
そして資料館から越前焼も展示品を持っていきました。



なんだか、年末が近づきウキウキしている子供達（^-^）



楽しく陶芸体験してくれました。

電動ろくろのコーナーは作品は残せないのですが、普段はなかなか体験することのできない電動ろくろを気軽に体験してもらうことができます。



し・ん・け・ん(@_@)

子供達にはドロドロしたどろの感触が新鮮みたい。
そしてするすると形を変えていく粘土にビックリ！





できた——！

初めての体験の子が多いですが、みんなすっごく上手に出来上がりました。

マーカー絵付けはお家のオーブンで焼き付けるマジックを使うので、体験当日に持って帰れる体験です。おじいちゃん、おばあちゃんへのクリスマスプレゼントに絵付けをしたり、マイカップを一生懸命作っている子もいました。



こんなかわいい作品ができあがりました♪



さあ、これで今年のイベントは終了です！
今年1年たくさんの講座やイベントをしてきました。

陶芸村から出て活動する機会も多く、今まで陶芸村に来たことがない方にも陶芸教室を知っていただけたのではないかなと思います。

来年もたくさんの楽しい講座やイベントを企画中です！
みなさん遊びに来てくださいね～♪

ちなみに、次のベルイベントの予定は・・・

3月23日（土）・24日（日）です！！

場所は2階のゲームセンターの横です！

はい。お待ちしております～す＼(^o^)/

にしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座⑤》12/16(日)

今年も残すところ 10 日あまり。

早いですね~(^_^;)

1 年ってあっという間。

みなさんこの 1 年はどのような年だったのでしょうか？

何気なく過ごしていると、時間の経つのは早いもの。

毎日何か挑戦して、新鮮な気持ちで日々を過ごしていきたいなあ、と思っているにしーです。

さて、11 月に始まった入門講座。今回で年内の講座は終了です。

さあ！ゆのみ作れるかな??



電動ろくろ入門講座 5 回目！スタート♪

まずはだいぶ慣れてきた『菊練り』から。



最初は全然形になっていなかった菊練り。

でもでも、この5回でみなさんビックリするくらい上手になっています！

もうすでにキレイな菊のお花になっている方も。

一定のリズムでしっかりと粘土を練れているということですね。



言葉で説明を受けても、なかなか出来るようにならない菊練り。

受講生の方がぼつっと言っていました。

「何も考えん方がうまくいくな・・・」

そうです！頭で理解しようとしてもよく分からなくて、こんがらがってきてしまいます。

土と向き合って、土の感触を確かめ、体で感覚をつかんでいく方が近道かもしれません。

5回の講座の成果！！

どうだ——(^_^)v



できてます\(@o@)/!!みなさん!しっかり菊練り出来てますよ♪

ここまでくれば、あとは徐々にタイミングも取れるようになりますし、もっともっと楽に菊練りできるようになるはずです。がんばってください!

ではでは今日の目標!

ゆのみを作ります。



前回に引き続き筒形のゆのみを挽きます。

ゆのみの断面はこんな感じ。



底はなるべく平らに。そしてサイドの粘土は上にまっすぐ伸ばします。
そしてなるべく厚みは均等になるように。
腰の部分は後で削ります。(線を描いてあるラインができあがった時の器のラインです)

なるべくまっすぐ筒形のゆのみを作るコツは・・・？

ろくろは絶えずグルグル回っているので、器状になった粘土はどんどん遠心力で外側に広がろうとします。
なので器の形になってきたら、土殺しの時よりも少し回転の速度を弱めます。

そして筒状に伸ばすには、広がろうとする粘土をしっかりと内側に寄せるように支えることが大切です。
内側に寄せる・・・。
つまり外側にある手(左手)でグッと内側に粘土を押します。

ワンポイント！

粘土を上手に伸ばすには内側の指よりも外側の指が少し下側にあるといいです。
外側の指があとから追いかけるような感じですね！
そうすると、広がらずに上にキレイに伸びてきます。(そのはずです(・・・))



こんな感じ♪

そうそう！大事なことを忘れていました！

越前の粘土は作った時から出来上がりまでの間にかなり縮みます。

どれくらいかという**16パーセント**！

えっと、つまり10センチで作った物が8.4センチになります。

数字だとイメージ分かりにくいですが、大体**2まわり**くらい小さくなる感じですよ。

結構ビックリするくらい小さくなります。

「え？こんなに大きくて大丈夫？」というくらいでちょうどいいんです！

作品を作っているときはどうしても小さくなってしまいがちなので、思い切って大きめのゆのみを作る！と思っ
てもらった方がちょうどよくなります。

5回目の成果！





みなさん！5回でこんなに挽けるようになるなんて、スゴイことなんです！！
だってよく考えてみてください。

まだ5回しかしていないのに、自分の手でゆのみを作ることができてるんですからビックリです。

電動ろくろは慣れてくると、「ぽんっ」とコツが分かる瞬間がきます。

そのタイミングは人それぞれなので、焦らず自分のペースでじっくり土と向き合い、鍛錬を積み重ねることが上達への道ですよ＼(^o^)/

さて、今回で年内の講座は終了しました。

全く粘土を触ったことないという状態から始めて、5回目でみなさん電動ろくろでしっかりと作品を作れるようになってきています。

来年はもう少しろくろで作品を作り、そのあと『削り』『釉掛け』という工程が待っています。

来年は忙しくなりますよー！

ではでは受講生のみなさん。

来年も張り切っていきましょう！！

投稿者：陶芸館スタッフ | 2012年12月19日 09:07 |

陶芸村はすっかり雪景色になりましたよ。

今年の冬は大雪でしょうか。



今日の朝は今年初めての雪かきとなりました。

陶芸館の前のスロープや通路などはみんなで力を合わせてセッセと雪かきします。

北陸の雪は重いですからねえ。

朝から汗かきました(^_^)

寒くっても、雪が降っても、入門講座は開催されます。

電動ろくろ入門講座 4 回目！！

今回は全員出席！！おおお！すばらしい♪ありがとうございます。



そして講座 4 回目にして、ゆのみを作品として残しましょう、ってことなんです。

まあ、普通に考えたら電動ろくろ 4 回目で安定してろくろがひけるようになるのは難しいですから。

はい。まだまだキレイにひけなくて当然ですよ！焦らないでくださいねー。

12月いっぱいにはゆのみの成形。その間に少しずつ慣れていきましょう！

ゆのみの形はいろいろありますが、今回は筒形のゆのみを作ってもらってます。
なるべく同じ厚みでまっすぐに伸ばす練習ですね。

厚みってどれくらいかな？

数字で表すと大体3mmくらいですかね。

でも作る作品や形によって厚みは変わります。

大きな作品を作るときにはやっぱり重量に耐えられるように厚めにします。

そうそう、器を仕上げるときには削りという作業をして完成となります。

器の腰の部分は全部削ってしまうのでひく時よりも、削る時に厚みを揃えるということになります。

だからひく時にはズシッと腰の部分に土が残っていてもいいんですよ！

もう一つ気を付けるのは底の厚さですね。

高台を削りだして仕上げるので高台の高さの分はしっかりと厚さを残しておかなきゃいけません。

この時内側の底の部分がキレイに平らになっていないとバランスが悪くなっちゃいます。

真ん中だけ深くなっていると、削った時に底の中心のところだけがペラペラに薄くなり穴があいてしまうことがあります。

なるべく底をしっかり平らに作り、サイドの部分は真上に伸ばすようにしたいですね。

底の部分とサイドの部分は別の工程として考えると、うまくいくかもしれません。

粘土は薄く伸びてくると、ちょっとした引っ掛かりが原因でベコベコとなってしまいます。

なるべくドベを上手に使って均一に伸ばせるようになりましょう！

みなさん、かなり集中してゆのみをひいています。





なかなか形を揃えるのは難しいでしょうが、なるべく同じような形をひくように意識してもらった方が早くコツをつかめると思います。



うん！ゆのみに近づいてきてますよ！！

さて、来週は12月最後の入門講座。
がんばって、ゆのみ作りましょう＼(^o^)/

にしーのイベント報告《ベル出張陶芸体験イベント》12/9(日)

ついに福井でも雪が降りましたよ～！
陶芸村はうっすらと積もっています。

しばらく雪が続くみたいですね。
みなさん運転気を付けてください。

そんな荒れ模様の天気の中**ショッピングシティ・ベル**で出張のイベントをしてきました！

でもでも、お天気が悪かったからか、なんだか子供達が少ないなあ。
せっかくがんばって準備したイベントなのでたくさんの方に陶芸に触れてもらいたかったんですが、ちょっと残念な感じでした。



今回は資料館との合同イベント。

福井県陶芸館をもっと知ってもらおう♪って感じで、陶芸村の自然や、故水野九右衛門先生の紹介などのパネルを掲示しました。

そして電動ろくろの体験コーナーと特殊なマーカーを使った絵付けコーナー！
盛り沢山です。



まず今回のイベントのお初。

資料館から館蔵品を持っていき展示しました。

たくさんある館蔵品の中から、常設展担当の職員が厳選したものは・・・

中世の越前焼の主製品である3点。

この時代の越前焼の約9割が壺・甕・すり鉢なんですねえ。

なぜでしょうか？

水道のなかった時代。壺や甕は今で言う水道の代わりの水甕や、冷蔵庫のような保存容器として使われていました。

またすり鉢は、今でも使われていますが、こねる・あえるなどの万能調理器具として使われていました。

この3つは「**中世の三種の神器**」とも言われます。



そしてもう一つの目玉として、越前焼研究の第一人者である**水野九右衛門先生**の**コレクション**も同時に展示しました。



陶芸に興味のある方、初めてやきものを見る方、結構真剣に見てくれています。



福井県陶芸館は4年前にリニューアルしてキレイになりました。
館内も明るくなり、越前焼の歴史についてじっくりと知ることができます。
ぜひ、陶芸館にもいらしてください！

さて、こちらはいつものようにニギヤカです。
電動ろくろ体験コーナー！！



ドロドロの土を触るのが初めての子は、手についた泥が気になってしまう様子。
陶芸村近くに住んでいる子供たちは昔電動ろくろをしたことがあると。やっぱり小さなときから地元の産業に触れる機会を持つことって大切ですね！



そして気軽に体験できるからこそ出張のイベントでは、今まで陶芸したことない！って人に土を触る井心地よさを多く知ってもらい、ぜひぜひ陶芸村に遊びに来てほしいなあ、と思っています。

今回みんなが作った作品たち！



ベルイベントで作った作品は焼けないのですが、陶芸教室では電動ろくろの体験講座を実施しています。その時にはしっかり職員がサポートして作品を仕上げますので、ぜひぜひ参加してみてください♪
次回の電動ろくろ体験講座は4月の予定です(*^^)v

そしてオーブンで焼き付けるマーカーを使った絵付けコーナーでは、ゆのみの形に加えて取っ手付のミルクカップも用意しました！

マーカーを使って一生懸命絵付けをする子供たち。
自分で描いた絵がそのまま残るからやっぱり嬉しいですね(^u^)



しんけん(・o・)



赤色が好きな男の子♪



かわいいネコさんと、女の子をカキカキ！

この特殊マーカー。

なんとお家のオーブンで焼き付けます。

230度で20分。

本当に焼き付くのか??と陶芸をしている者には不思議すぎるマーカー(・_・;)

でも前回ゆのみのマーカー絵付けをしていただいた方に聞くと、ちゃんと出来上がりましたよ!とのこと。

ほほ〜。そうなんだ。よかった。

って、ちゃんと自分でチェックしろ!という感じですが。

(いやいや、ちゃんとチェックはしてますよ(@_@;)ただ、長期間使うとどうなのかなあ?と。)

ベルでは年に何回か出張イベントをしていますが、実はいつも遊びに来てくれる子もいます。

陶芸イベントを楽しみにしてくれてる子がいる♪と思うと、とっても嬉しいです!

こうやって少しずつ陶芸に興味を持つ方が増えてきてくれるといいなあ♪

今回は **12月22日(土)**に1階の北コートで同じようなイベントを開催します。

ぜひぜひ遊びに来てくださーい！！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年12月9日 09:07 |

にっしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座③》12/2(日)

12月に入り、寒くなりましたね～。

ついこの間まであんなにきれいだった紅葉も全部散って、急に冬が近づいてきたみたい。

陶芸館のお庭の木々は雪国ならではの『雪つり』がきれいに施されています。

お天気お姉さんによると今週末には雪が降るみたいです。

うっ。早くスノータイヤに換えなきゃですね！

毎年のんきなにっしーです。

今回は**電動ろくろ入門講座の3回目**。

なんと、電動ろくろ3回目にしてゆのみに挑戦しようという急ピッチな進み具合。



みなさん、大丈夫ですか～？

付いてきてますか～？

全12回の講座に無理やり工程を押し込めようとする、こんな無茶なスケジュールになってしまうんですね。

でも、大丈夫！

毎年このスケジュールでみなさん何とか作品が出来上がっています。

今年を受講生の皆さんもぜ～ったい出来るようになります！

がんばりましょう(^o^)/

まずは前回途中で終わってしまった『パイ挽き』について。

土練りの終わった粘土をろくろに据え付けて土殺しをします。

粘土がしっかり締まって中心に揃ったら、いよいよ作品作り！

全ての器の基礎となる形が『パイ挽き』です。

『パイ』とだけ言うこともあります。

まずは『土取り』。

土殺しをした粘土を右手親指の付け根のちょっとポコッと膨らんでいるところで下に押しします。



そうすると、粘土はつぶされて横に広がり、キノコのような形になります。



その横に広がってきた部分を、両手で包み込むようにして粘土の量をはかります。
この時の手の感覚がとっても大切ですね～。
毎回同じ量の粘土を土取りできれば、大体同じ大きさの作品を作ることができます。



土取りの感覚も慣れですね～♪

土取りした塊の部分で器を作っていきます。
まずは親指で真ん中にグイッと穴をあけます。大体第一関節くらいまで差し込みます。



次は親指を真横に広げ底の部分を作ります。

この時親指が水平に動かないと底がベコベコになってしまいます。



横に広がったら、一度横の部分をすぼめて、上向きの形にします。

両手で包むように持ち、掌を返すような感じで内側にギュッと寄せます。

(いい写真がありませんでした！すみません)



次に右手親指と中指で粘土を挟むようにつかみ（キツネの形ですね）底から口まで同じ厚みに揃えます。



そうすると、バイ挽きの完成です！！

さて、今回はバイ挽きの次！

ゆのみまで進みます。

ゆのみにするには、バイ挽きの横の部分を均等に薄く伸ばしていけばいいだけです。

そうです！それだけなんです、それが難しいんですよね(・・・)

つつい力が入ってベコッとなってしまうたり、薄くしすぎて千切れてしまったり。

そして思い通りの形に仕上げるって意外と難しいです。

ろくろは回転しているので遠心力でどうしても広がりやすいです。

なので茶碗とか鉢は挽きやすいのですが、筒形のゆのみや花器などは意外とテクニックが必要です。ついでに皿のような平べったい形も広がりすぎてしまうので、とても難しいですね。

今回の講座ではできるだけ筒形のゆのみを目指して作っていただきます。

細い形を広げるのは簡単ですが、すぼめるのって失敗する可能性が高いです。

これからいろんな作品を作っていく中で必要な技術なので、なるべく粘土を上へ伸ばすコツをつかんでいただこうと思っています。

真上に粘土を伸ばしていくときのポイントは??

ゆのみの内側と外側から同じ部分を指先で挟んで粘土を伸ばしていくのですが、どちらかというと外側の手の方が重要です。

しっかり広がりすぎないように支えて、内側にグッと寄せる気持ちで挽くと結構まっすぐに上に伸びていきます。



こんな感じ！



今回は作品は残さないで、思いっきり粘土を伸ばす感覚をつかんでもらいます。
しっかり伸ばさないと、ズシッと重たく分厚い器になってしまいます。



グイッと！



ゆっくりゆっくり！



しっかり伸びてきています。



キレイじゃないですか！



だんだんキレイになってきてますね！

初めてゆのみを弾いた割には、みなさんとっても上手に挽けています！！
ゆのみはあと3回。そのあと飯碗を作り、自由制作になります。

今回出来なかった方も焦らずいきましょう＼(^o^)/
ろくろは慣れが大切！！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年12月4日 09:07 |

にっしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座②》11/25(日)

さ～て！今回は**電動ろくろ入門講座 2回目**の報告です。

2回目は前回に引き続き土の練り方&電動ろくろの方は一段階進んで『土殺し』の次、器の基礎となる『パイ挽き』まで進みます。

はい。どんどん進みますよ～！

今回は前回お伝えできなかった『**菊練り**』についてのレポートを中心に！



『菊練り』

前回みなさんとっても苦労していた土練りの空気を抜く方法の方ですね。

練っていった跡が菊のお花のようだから『菊練り』。

なんで菊の模様になるの???とみなさん不思議なようでしたが、う～ん。

にっしーも言葉では説明できないです。

えっと・・・。

言葉では説明できないってことはブログでも説明できないわけで(-_-;)

ではよく分からないかもしれませんが、一応なんとなく言葉で表現してみましよう。

まず左手を軸にして右手で粘土を揉んでいきます。
ギュッと向こう側に押し出すような感じ。



左手の軸を中心に粘土を回転させるようにすると、少しずつ粘土が回転していき右手で押したところがヒダのようになります。

このヒダがどんどん続いていくことによって、菊の花びらのような模様になるんですね。



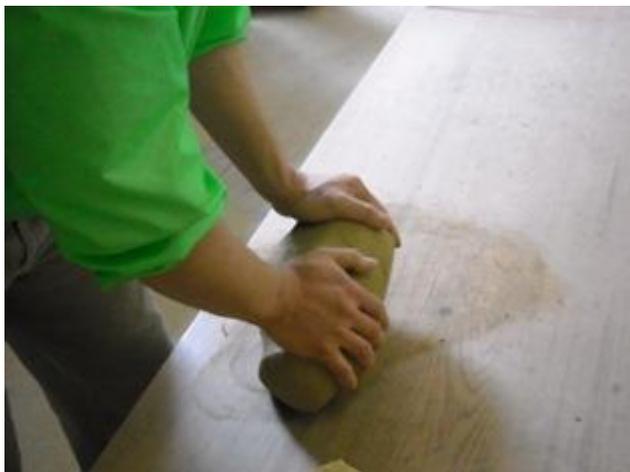
粘土の中の空気をしっかり抜くためにはまず **100回**。そして粘土を一度まとめたら向きを変えてまた **100回**。

はい。たくさん練らないと空気はしっかり抜けません。

そして菊練りでせっかく土の中の空気を抜いたので、最後に粘土をまとめる時も空気が入らないように気を付けます。

少しずつ右手の力を弱めていき、粘土のヒダの部分を今度は巻貝のように巻き取っていくイメージで。

一気にまとめようとするとう段差ができ空気が入ってしまうので、少しずつ丁寧に。



そして最終的に粘土はラグビーボールの状態にまとめます。



分かりました(@_@;)??

写真や言葉ではなかなか分からないですね。

やっぱり体で覚えるしかない！

汗をかきかきみんなで粘土を練ります。





みなさん結構菊のかたち近づいてきているじゃないですか！
その調子です＼(^o^)/

青木先生曰く

『菊練り 3年！！』らしいです。

土練りは力も使うし、できるようになるまで結構大変です。
でもでも電動ろくろで作品を作るためには必要な技術です。
諦めずに少しずつ慣れていきましょ！

それでは電動ろくろに移動して・・・

電動ろくろに粘土を据え付けたら、前回の続き『土殺し』から。
粘土を伸ばしたり縮めたり。そしてしっかり中心に合わせます。

さてさて、では今回は『バイ挽き』までいってみましょう！
バイというのは杯（ハイ）からきている言葉だと思うのですが。
全ての器の基となる形ですね。
分厚いぐい飲みのような形です。



このパイをどんどん薄く伸ばしていき、ゆのみや皿、茶碗など色んな形に変えていくんですね。

まずは湯呑みを作る分量の粘土を『土どり』します。



そして、その中心に親指でグイッと穴をあけていきます。



そしてその親指を横に広げて底を作り・・・

えっと、すいません(-_-)

また写真を撮り忘れていました。

ではパイ挽きについては次回のご報告としましょう。

言葉だけではよく分からないと思うので。

ではみなさん。また来週～！

にっしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座①》11/18(日)

さあ〜て！今年も始まりましたよ！

毎年恒例 『電動ろくろ入門講座』



**電動ろくろ
入門講座**

電動ろくろを「からずんでみたい!」という方のための
全12回の講座です。
まったく初めての方でも大丈夫。
電動ろくろのいろいろな工程を学び、講座が終了するころには
ゆのみや、ご飯茶碗が作れるようになります。

日程
11月・・・18日、26日
12月・・・2日、9日、16日
1月・・・12日、20日、27日
2月・・・5日、10日
3月・・・5日、10日
※すべて日曜日です

ところ 柳井島陶芸館 陶芸教室
募集人数 午前の部(9時〜12時)ー6名
午後の部(13時〜16時)ー6名
料 金 合計7,000円程度(※全12回分)
受付開始日 10月16日(火)

お問い合わせ・お申込み
柳井島陶芸館 陶芸教室
TEL 0770-32-2174 内

今年は今までで一番人気があったようで、なんと申込開始から 30 分くらいで定員になりました。
いや〜、本当にありがとうございます。

そして受講できなかつた方！本当に申し訳ございません。

この入門講座は土の練り方、電動ろくろのひき方、削りの仕方、釉掛けまですべての工程をご自分でいただきます。

でも全部で12回しかないこの講座。なかなかこの期間で技術を自分のものにするのは難しいです。

みなさん、焦らずゆっくり上手になっていきましょう！

さて、まずは講座初日。

みなさん緊張した面持ちでろくろの部屋に集合しました。

今回の講座はメインで担当する職員が青木と西浦。

そして回ごとに他の職員が交代で入ります。

なぜたくさんの職員が付くのかというと・・・

電動ろくろってこれが正解っていうひき方はないんです。

同じように教えてもらっても、みんなそれぞれ自分のやり方になっていますし、ひき易いようにそれぞれ工夫しています。

だからたくさんの人にその人のポイントを聞くことで、自分に合ったろくろのひき方を見つけてもらえればいいなあと思いこのような進め方をしています。

さて、まずは講座のスケジュール、教室の施設などについての説明。

今回の受講生の方は陶芸初体験の方が多く、やきものの出来上がる工程についても説明しました。



さまざまな工程を経て出来上がるやきものに、みなさん感心。

窯場では釉薬の色見本を見て焼き方による違いに興味をもったり、電気窯を覗き込む姿も。



初めて見るものたくさんで、きょろきょろしちゃいます。

よし、ではろくろの部屋に戻り、まず1日目のメイン工程。

『土練り』



今回ここをメインにお伝えしたかったのですが、なんと写真を撮り忘れていたという大ポカ！！
土練りに真剣になりすぎ、写真のことはすっかり忘れていました。
ってことで、写真抜きでどうぞ・・・。

粘土は3kgずつ。粘土の量は少なすぎても使いにくいですし、多すぎてもかなり力が必要で大変です。3kgくらいの粘土が一番扱いやすいですね！

まずは粘土の固さを均一にする 『荒練り』

両手で粘土を押し揉みして、ミルフィーユ状に重ねていきます。
これを何度も繰り返すことで、全体の粘土がきれいに混ざります。

つぎは 『菊練り』

きました、菊練り。これが難題です。

粘土の中の空気を抜く方法なんですが、言葉ではなかなか説明できないんです。

少しずつ粘土を回転させながら練っていくのですが、その跡が菊のお花のように見えるので菊練りっていうんですが・・・。

(-_-;)

う～ん、これは本当に慣れしかないんですよ。言葉でいくら聞いてもその動きが分からないので、時間をかけて体得していってもらえないんですね。

30分かけて土を練ってみましたが、全く思うようにいかない粘土にちょっとガツカリされたかなあ。
でもにしーだって菊練りが出来るようになるまで1か月くらいかかったんですから！！

大丈夫♪♪

焦らないでいきましょ～(^_^)v

みんなで汗だくになって粘土を練った後は、いよいよ電動ろくろ初挑戦です。

まずは職員が見本をみせます。



練った土をろくろの盤の真ん中にくっつけたら、しっかりとお水をつけて滑るようにし、両手で粘土を挟む様に力を加え上に伸ばしていきます。そして長く伸びたら、今度は粘土を縮めて最初の状態に戻します。

これを『土殺し』といいます。

粘土のクセをなくして扱いやすい状態にしたり、粘土をろくろの中心に合わせて芯出しをし、なおかつ粘土をギュッと締まった状態にする、とっても大切な工程です。

これができていないと、作品を作るときにグニャグニャに歪んでしまったり、作った作品の底がひび割れてしまったりします。

なので今回はこの土殺しだけを練習しました。

粘土をぎゅ～っと挟み込むようにすると・・・

あれ??

伸びてくるはずなんだけどなあ。



なかなか粘土が思うように動いてくれません。

力任せにしようとする、プチッと切れちゃいます。

粘土が気持ちよくスルスルと動いてくれるような瞬間があるんですが、それを見つけるまでが大変かもしれません。

約1時間格闘しました。



なかにはコツをつかんでスルスルと粘土が伸びてきている方も！



スゴイです！！めちゃめちゃ上手です！初めてでこんなに出来るなんて！

こちらは・・・



努力の証。ちぎれた土たち。

電動ろくろってかなりの前かがみ体制。

ず～っと腰を曲げているので、1時間ろくろに向かった後は・・・
大変です。腰を伸ばせないくらい痛くなってしまいます(>_<)

何事も無理は禁物！

自分のペースに合わせてゆっくり練習していきましょう♪

土練りも土殺しもこれから何回も練習していきます。

そうすると、ある時パッと分かる時が来るんですよね！

今回午後の部で青木先生がいいこと言っていました。

「電動ろくろの上達する状態をグラフに表わすと、右肩上がりの曲線ではなく、階段状になるんです。ある時ポンッと分かって急に上達する。でも次の段階に行くまではまた時間がかかる。だから電動ろくろが上達するためには、いかに伸びていかない時期を我慢して努力を続けていけるかが大切なんです！！」

おおおおお！！

青木先生、いいこと言うなあ（^u^）

まさにその通り。

電動ろくろの上達に近道はないんですね。

みんな同じです。

焦らず、じっくりゆっくり、自分のペースでレベルアップしていきましょう！

職員も一緒にがんばります！

講座の最終日にみんな揃って自作の湯のみでお茶を飲みたいですね。

みなさん、よろしくお願ひします！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年11月20日 09:07 |

にしーのイベント報告《陶芸教室作品展～土のかたち～》11/30(金)まで

まっかだな～♪ まっかだな～♪ つた～の葉っぱがまっかだな～♪♪

と歌いたくなってしまうほど陶芸村は今が紅葉の見ごろです！

急に寒くなりましたからねー。木々の葉っぱもみごとに赤や黄色に染まりましたよ。

紅葉は多分11月中旬くらいまでかな～という感じです。

さてさて、みなさん。話はガラッと変わりますが、

福井県陶芸館って出来てからどれくらいたっていると思います？

福井出身の方は、小さいころ学校の遠足などで一度は陶芸館に来たことあるって方が多いんじゃないでしょう

か？

ってことは、私が〇〇歳だから・・・。

え〜っと・・・(-_-;)

んと、まあ歳のことは置いといて。

陶芸館、実は約 40 年経ってるんです。

資料館・陶芸教室・茶苑の順に 1 年ずつ順番に出来ました。

そして、今年は陶芸教室が出来てから **40 年！！**

記念の年なんです＼(^o^)/

そ・こ・で♪

企画しちゃいました～！

陶芸教室 40 周年記念作品展～土のかたち～



では見に行ってみましょ～♪

陶芸教室では通常のコース以外に特別講座を開催しています。
にっしーがいつもこのブログで報告しているのが特別講座です。

その中でも特に人気があるのが『電動ろくろ入門講座』。今年度ももうすぐ始まります。

この講座を終了した方たちは、作陶の基礎技術を習得した後それぞれの感性で作品を作り始めています。

中には**陶歴 10 年**以上の大ベテランも！！

陶芸はゆっくりじっくり極めていくもの。

さすが陶歴 10 年ともなると、その腕前は職員もビックリしてしまうくらいです。

作る作品もさまざま。

電動ろくろでカップや酒器、花器などを作ったり、たたら作りで大皿を作ったり。

使う土もさまざま。

基本は越前の土ですが、いろんな作品を作るうちに、みなさん自分の好きな産地の土を取り寄せて使っています。

今年は陶芸教室に第 2 次土鍋ブームがきていて、取り寄せた耐熱の粘土で土鍋を作る方が多いです。



現在電動ろくろに来ていらっしゃる方は、全部でだいたい 40 人くらい。

今回は約 15 名の方が出品してくださいました。

では、いってみましょう！

今回展示方法にもこだわりましたよ♪

秋をイメージして皆さんの作品を華やかに飾ってみました。

まずは今回のテーマ

『土のかたち』



かっこいい看板です！

会場がピシッと引き締まります。

皆さんがそれぞれの想いで土と向き合い、自分の感じるままにかたちに表現して生まれた作品たち。その断片を見ていただきたいということでこのような題になりました。

展示場所は資料館ロビーの展示スペース。

バックには幽石庭のもみじがきれいに紅葉して最高のスパイスに！





どうでしょう？すてきですねえ。
今回一番若手の方で陶歴3年。

趣味で作ってらっしゃるとは思えない仕上がりです。

作品展の期間は **11月30日（金）** までです。

ぜひ、皆さんの力作を見に来てください♪

今回たくさん出品して下さった方もいらっしゃるので、1か月の期間中に展示入替をします。

次はどのような作品が並ぶのか??

楽しみにしててください!

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年11月2日 09:07 |

にしーのイベント報告《灯りとり講座》10/21(日)

秋といえば・・・

運動の秋

読書の秋

食欲の秋

でも、やっぱり

芸術の秋

ですよね＼(^o^)/

秋の夜長を楽しむステキな灯りとりを作る講座を開催しました。



灯りとりってとっても癒されますよね♪
キラキラ☆☆もれる光を眺めてると、ほっこりしちゃいます。

そんな癒しグッズ灯りとりを作れる講座はいつも大人気！
今回もたくさんの方が参加してくださいました。

まずは担当のN先生から灯りとりを作るときのポイント説明。



ただ穴をあけるだけなんですけど・・・。

穴だけで模様を表現するのがって難しい・・・。

どのようなデザインにするか結構重要なんです。

大きな切込みを入れてしまうと、グニャリと崩れてしまうし、小さな丸を連ねて線を表現するしかないんですね。

う～ん、分かったような、分からないような(@_@;)

とりあえずやってみましょう！

今回灯りとりの形は2種類。

上があいている寸胴の形と、頂上を丸くしたドーム形。

教室職員が一生懸命ろくろでひいて準備しました。

この土台作りがかなり大変(・・・)

がんばりましたよ～！！

ちょっとずつ形が違うのはご愛嬌！

自分好みの形を選んでもらいました。

まずはみなさんに考えてきてもらったデザインを基に、土台に墨で下書きします。

墨は焼くと消えてしまうので、下書きに使えるんですね。

そして、その下書きに合わせて穴をあけていくんですが。

ポンスという道具を使います。



クルクル回しながら刺していくと、きれいな穴があきます。

先っぽがとんがっているので、気を付けて！



他の形の模様はナイフやクッキーの型などであけます。
でも細かい模様の切込みはすっごく大変(;_ _)
一つ一つナイフで一生懸命形を彫っていきます。



かなり集中して彫っています・・・。



細かいです・・・。



がんばったなあと、思っただ中に電球を入れて光の漏れ具合を確かめてみると、まだまだ暗かったり。結構たくさん穴をあけないと明るくなりません。

作り始めて **2 時間半!**

完成です(^o^)





どの作品も、かなり上手！

中に灯りを入れるとこんな感じ★☆☆☆





ラブリーなネコちゃんの模様や、お星さまの模様、かわいいチョウチョがひらひら飛んでいる模様。どの作品もキラキラとってもきれいに仕上がりました♪

ああ～♪焼き上がりが楽しみです(*^^)v

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年10月23日 09:07 |

にしーのベント報告《越前窯 窯出し》10/14(日)

秋季陶芸祭期間に窯焚きをしていた越前窯。

ゆっくりゆっくりと1週間かけて冷まされていました。

そして、いよいよ**窯出し**です！



どんなふうに焼きあがっているかドキドキ＼(^o^)/

まずは焚口のところのレンガを崩して、入口が出現！

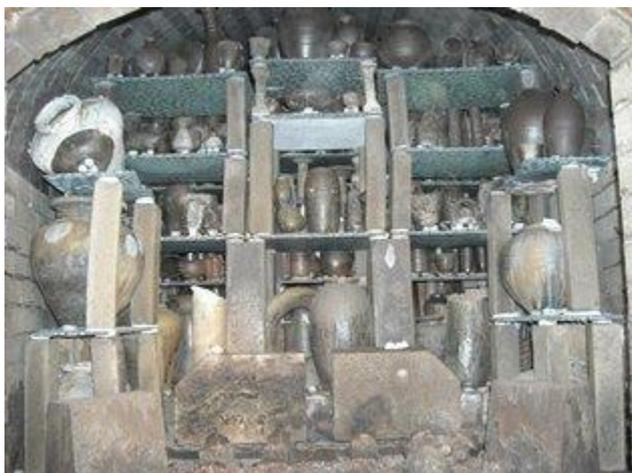


どんな感じが気になるう～



まずは**1列目！！**

ド——ン！



おおお。たくさん詰まっていますねえ\(@o@)/！
結構還元効いてるんでしょうか。黒っぽい感じですね。

1列目の作品は一番灰がかかり、一番高温になる場所なので、もうすでに割れている作品も(>_<)
炎の力ってすごいですねえ。

慎重に一つずつ作品を取り出します。



窯出しは人海戦術。

たくさんの方が手伝いに来ています。

作品を大事に1つ1つ運びだします。

そして作品を並べている棚板。

板と作品がくっつかないように道具土で目をつけて浮かしているのですが、この道具土が自然釉でやっぱり棚板にベッタリくっついちゃうんですね。

この棚板の掃除がまた大変(;_ _)



これも人海戦術。

1枚1枚コンコンたたいてキレイに取っていきます。



もちろんっしーも手伝ってきました！

今回の窯は全部で3段4列の棚組みをしています。

1列ずつ雰囲気が違うので棚板ごとに作品を出していきます。

場所によって仕上がりが違うので、並べてみるととても面白いですね♪



2列目！！

ド——ン！



あれ??なんだか赤っぽい。

酸化っぽいのか??

壺、倒れっちゃってる・・・。

あ～あ、残念。

薪窯は何が起こるか分からないんです！

はい、**3列目！！**

ド——ン！



おお？

やっぱり赤っぽい。

そして、**4列目！！**

ド——ン！



すいません。ピンボケでした(-_-;)

ここまできると、ほとんど灰かかってないですね。

さあて、全部出ました！



みなさん自分の作品を探しながら、品評会。



この焼きいいわあ〜！と言っているのでしょうか(^o^)

にっしーも陶芸教室のお客様の作品を探します。
講座の方の作品はこんな感じで焼きあがりました！！



おおお♪

ステキ！シブイ！上出来！



やっぱり焼いている途中に割れてしまった作品もありましたが、なんとか無事出来上がりました。

薪窯ってやっぱり難しいもんですね。

人知の及ばない世界。

でも、窯を開けてみないと分からないからこそ、土と火の力によって生み出される薪窯の作品には、神秘的な力強さと美しさがあるんだと思います。

越前の地で昔から受け継がれてきた『やきもの』。

現在越前の窯元 **96 軒**のうち薪窯で作陶しているのは **29 軒**。

たくさんの薪を使い、労力も必要な薪窯。

そしてそんなに心骨を砕いても、思うように作品が焼きあがっているかは分からない。

もしかしたら、一窯まるまる失敗！！なんてことも(T_T)/~~~

薪窯を生業としていくのは、とても大変なことなんです。

窯元さんたち。こちらからも頑張ってほしいです。

今回の講座で少しでもみなさんに薪窯に興味を持ってもらえたらうれしいです！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012 年 10 月 19 日 09:07 |

にしーのイベント報告《南条 SA 出張陶芸教室》10/13-14

気持ちのいい青空♪

ああ～、どこか出かけたいなあ！！

秋の紅葉シーズン。

みなさんはどこか遊びに行く予定ありますか？

今回は福井県で唯一の SA♪♪

南条 SA で『**ゴーイング★ハイウェイ 2012 in 南条**』というイベントが開催
されました！

このイベントは NEXCO 中日本が主催しているイベントで地域の工芸文化などを紹介し、PR していこうという
イベントです。



秋の行楽シーズン。

SAはたくさんの旅行者でいっぱい！

ドゥルン ドゥルンといい音させてるカッコいいバイクもたくさん！
ツーリングいいなあ。

おっとと。ついバイクに目がいっちゃうけど・・・

よし！PR 開始＼(^o^)/

今回は土を触ってもらうことがメイン！

電動ろくろと手回しろくろを持って行って、粘土をたくさん触ってもらいました。



電動ろくろのコーナーはやっぱりみんな興味あるみたいで、覗き込んでいる人がたくさん！
初めての体験で楽しんでもらえました。



見てるだけより、やっぱり体験してみた方が楽しいですもんね(^_^)v

手回しろくろも粘土を自由に触って、いろんなものを作ってもらいました。

やっぱりこちらの方がしっかり粘土に触れるので、子供たちはじーっくり粘土の感触を楽しんでいました。





かわいい猫のお皿を作っていた子に聞いてみると、地元の子でした。
なんと前の週に学校の遠足で陶芸教室に行ったばかりだと！！



おおお♪だから上手なのね(^o^)

粘土は何度も触っていると、どんどん上手に作れるようになりますからね。
やっぱり慣れが大切。

今回県外から来ていた方たちは近くに陶芸体験できる場所があるのを知らなかった方が多かったです。
やっぱりまだあまり知られてないようです。
もっと PR ががんばんなきゃ！

次回福井にお越しの際は、ぜひ陶芸村に遊びに来てください！と笑顔で PR(*^^)v

会場ではその他にもいろいろな地元産業の体験コーナーがたくさん！

★越前和紙青年部会による紙すき体験

紙すきを気軽に体験できるなんてスゴイ！！



越前和紙の産地『今立』は先日の豪雨で大打撃を受けた地区。

紙すきの工房もかなり被害を受けたようです。

復興は大変でしょうが、同じ伝統産業を伝えていく者として、ぜひ頑張ってほしいです！

体験で作れるのは、はがき2枚♪

まずははがきの大きさの型で和紙の繊維が入った水を掬い上げ フリフリ。

そして小さな和紙の型抜き模様をバランス良く置いて チョンチョン。

カラフルな色水を好きなのところに チュー。

あとは水を蒸発させれば・・・



できあがり♪

手作りの和紙のはがきって、やっぱり温かみがあっていいですね(*^。^*)

★南条織物株式会社による畳のへりを使ったコースター作り体験

こちらの会社は地元南条にあるらしいのですが、日本伝統の畳へりを作っている会社みたいです。

畳のへりって、今までじっくり見たことなかったんですが、なんだかいろんな色やデザインがあるんですね(@_@)

へえ～



今回の体験は畳へりを使ってコースターを作る体験。

まずは好きな色の畳へりを選んで・・・

周りに両面テープ付けて・・・

好きな色のレース選んで・・・

ぺたっと張り合わせる。

あっという間にコースター完成！

今回は両面テープで作りましたが、お店の方ではしっかりと縫い合わせて作っているみたいです。

濃い色合いの畳へりが多いので、かっこよく仕上がりますよ！

★箸のふるさと館 WAKASA による若狭塗箸の研ぎ出し体験

若狭・小浜の箸っていえば、有名ですよ～(^_-)-☆

今回はなんでも自分で研ぎ出し体験した箸をもらえるみたいー！

まじで～??すごい嬉しい！！

前から興味があった箸作り。

やってみましょ♪

まずは紙やすりで模様の隠されてるところを シャカシャカ削り

なんとなく隠されている螺鈿が見えてきたら、集中的に シャカシャカシャカシャカ！！

この力加減が難しいです。

力入れすぎちゃうと、漆が取れちゃうのでガサガサになっちゃいます。

模様を出したいところだけ シャカシャカします。



お水で汚れを流すと めちゃキレイ～！！



どんどん出てくるきれいな模様。感動モノでした＼(◎o◎)／！

会場ではその他にもいろんな催しが行われてました。

ステージでは懐かしソングを熱唱するイケメンが登場したり、ゾロゾロと七福神が練り歩いたり！



なんか武者がいるぞ??



朝倉義景のようです。
イケメンでした。

そして福井が誇る恐竜博物館からは**恐竜博士**が来ていました。

一緒に記念撮影できるんですが、この顔。



こわい・・・。

いろいろな出し物がたくさんあって、なんだかお祭みたいで楽しいイベントでした。

福井の他の伝統産業と交流する機会ってあまりないのですが、今回他産業の方と合同でイベントをするのも魅力的だなあと思いました。

福井には昔から大切にしてきた文化がたくさんあります。

それをぜひ県内・県外に情報発信していきたいですね！

今回は少しですが福井のいろんな魅力を紹介できたかなあと思います！

さて、みなさん！

次に福井へ来た時にはぜひぜひ陶芸館にも遊びに来てくださーい♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012 年 10 月 18 日 09:07 |

にっしーのイベント報告《秋季陶芸祭》10/6～8

天高く馬肥ゆる秋・・・

なんで秋はこんなにおいしいモノが沢山なんでしょう。

どんどん

どんどん

肥えていきます・・・。

それにしても、焼け付くような暑さがひいたと思ったら、なんだか急に肌寒くなってきましたね。
朝はヌクヌクのお布団からなかなか出られないにっしーです(-_-)

もう秋なんですね～！

陶芸村の木々もだんだん色づいてキレイな紅葉が始まっていますよ♪

今回は第2回目の『**秋季陶芸祭**』



昨年から開催されているお祭です。

越前焼の新作展やクラフト市、越前窯の窯焚き、電動ろくろ体験など色々なイベントが開催されました！

秋季陶芸祭期間、文化交流会館では「越前焼の新作展」や「美味しい器展」が開催され、越前焼の窯元が思い思いの作品を出品していました。

出品作を見て、「ううむ、私も作らねば！！」と刺激を受け、やる気倍増。

そして野外ではクラフト市！

越前焼やいろんな工芸品のテント、そして食欲の秋にぴったりの地元グルメが出店していました。



気持ちのいい青空のもと公園を散策する家族連れで公園内は久しぶりに賑やかな感じ♪

教室も祭イベント盛りだくさん！！

☆電動ろくろ体験コーナー

☆マーカーゆのみ絵付けコーナー

☆越前窯 窯焚き見学会

を開催しました。

まずは電動ろくろのコーナー☆



いつも大人気の電動ろくろですが、今回はスペシャルバージョンだったんです！！

なにがスペシャルなのか???

いつもは体験するだけで作品は残せなかったのですが、今回は焼成費をいただいて、作品を焼き上げますよ！というところがスペシャル～！

これ、かなりがんばってるんですよ(・・;))

なぜかというと・・・

作った作品はそのままでは焼けないんですね～。

作品の底には粘土が分厚く残っているので、底を削って高台という部分を削りだし、全体が同じ厚みになるように仕上げます。

そうしないと分厚いところは乾くときにヒビが入っちゃうんですねー。

この削りが結構大変なので、いつも体験だけでしていたんです。

今回3日間で約100個の作品ができました。

この100個を教室スタッフで丁寧に削りをし仕上げました。



やっぱり大変。

秋のスペシャルバージョンにするかなあ・・・という感想です。

でもこの**お客様の笑顔(^o^)**！



楽しんでいただけたようで、良かったです♪

今回体験してくださったみなさん！

作品は只今乾燥中です。

もうしばらく待っててくださいね♪

そしてゆのみのマーカー絵付けコーナー☆



なんでもオーブンで焼くとインクが焼き付くという不思議なマーカーを使ってゆのみに楽しく絵付けをしても
らいます。

体験当日に持って帰れるものって今まで出来なかったもので、これ、あたらしいですね～。

子供達から大人の方までみんな真剣に描いてくれました。



かわいい仕上がり！！



今回にっしーが担当したのは**越前窯 窯焚き見学会**☆

陶芸村内にある薪窯「越前窯」が祭期間（10/5～8）窯焚きをしました。

今回の窯には8月に陶芸教室の薪窯講座で作ってもらった作品も一緒に入っています。

そこで！

窯焚きを見学に行こう♪というイベントを企画しました。

陶芸村の中でモクモクと黒い煙をあげる越前窯。

窯の前にはたくさんの薪が積んであります。



薪窯ってどうやって焼くんでしょう？

電気窯やガス窯は窯の大きさや作品の詰め方にもよりますが、大体1日かけて焼き上げます。

ところが、薪窯はも一つと時間がかかります。

大体4日～6日くらい。

しかも！24時間焚き続けます(@_@)



また、電気やガスの窯は火力の調整は電気の強弱やガス圧の調整でできます。

でも薪窯の燃料は薪だけ！

薪をくべる本数、タイミングで窯の調子を調整しているんですね。

窯焚きの期間、24時間体制で大体10分おきくらいに薪を休みなくくべ続けて、やっと窯焚きが終了します。

でも！ここが重要。

無事に焼きあがったからといって、作品が思うように出来上がっているかは全く分かりません。

そう！窯を開けてみないとどんな風に焼きあがっているのかわからないんですねー。

窯を開けてみたら全然いい焼きじゃなかった・・・。

ということもシバシバ。

まさに人知の及ばない世界なんですねー。

そう！薪窯を焚くのはとーっても大変なんです。

今回はそんな薪窯の窯焚きを体験してもらいました。

につきーの師匠でもある日向先生に薪窯についての説明をしていただきます。



越前窯は鎌倉時代の窯を参考に日向先生が設計した窯です。

結構大きな窯で 30 cm くらいの壺だったら、300 個くらい入ります！

越前窯で使っているのはクヌギやナラといった堅木。

1 回の窯焚きで使う薪は約 650 束！1 束 10 本くらいと考えると約 6500 本！！

すごくたくさんの薪を使うんですねー。

たくさん質問も飛び出して、日向先生も説明に熱が入ります。



っと、盛り上がってきたところで窯焚き体験タイム！

長袖長ズボンで肌を守り、顔は溶接用のシールドでガード。

そして軍手の上に皮手袋をはめ、準備万端！！

まずはデモンストレーションをしてもらい、薪の入れ方を教えてもらいます。

かなり火に近づくので初めての方はちょっと腰が引けちゃいます。



この時は1回に入れるのは大体8本くらい。

8本入れている間に窯の熱さが肌に伝わります。

何度か挑戦していると、滑らかな動きになり成功♪



これを5日も続けるとなると・・・。
大変なんですよー。

薪窯のことを少しは分かってもらえたかな、と思います。

今回の秋季陶芸祭。
たくさんのイベントが目白押しで、とても楽しいイベントになったなあと思います。

陶芸村の紅葉は今からが最高の時期ですよ～！

みなさん、秋の陶芸村にぜひ遊びに来てください＼(^o^)／

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年10月12日 09:07 |

てくてく日記 こ～いこいこいこい鯉。

夏が終わり、もういっきに秋ですね。

涼しくなって空は高く、真っ青で爽やかな秋の風景。

私も仕事ほったらかしにしてどこか出かけたくなる衝動にかられます(笑)

ちょうどこの間、陶芸館の庭・幽石庭の池の大掃除がありました。

緑色で底まで見えなかったのですが、まあなんと!!



絵本の「スイミー」みたいに鯉の稚魚たちがいっぱい!!!

毎日池は見てますが、こんなに沢山ちんまい子たちがいたとは、私もビックリです!



もうしばらくしたら、もみじも真っ赤になって秋色に。
ぜひぜひ、てくてくいらっしやいませ～～♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年9月27日 09:07 |

にしーのイベント報告《電動ろくろ1日体験講座》9/9(日)

9月に入り、朝晩涼しくなってきましたね～。
窓を開けていると夜は寒いくらいです。

もうすっかり空気は秋ですねえ♪

さてさて、教室では今年度最後の『電動ろくろ1日体験講座』が開催されました。
年に3回実施している体験講座。いっつも大人気です！！



今回も午前・午後、各 6 組の定員はすぐに埋まりました。
電動ろくろ人気、さすがですね！
今回は大人の方の参加が多かったように思いました。

まずは職員が電動ろくろのひき方を説明します。
初めての方もいますので、ポイントをわかりやすく。



そして組ごとにろくろに分かれて、**作陶開始！**

ろくろ 2 台に職員が 1 人付き、しっかりサポートしていきます。

最初の段階。『土殺し』。

粘土を上げ下げして、しっかりと中心に合わせ、土を締めていく方法なんですが・・・

これが難しい(+_+)

なかなか粘土が上がっていかないし、力を入れすぎるとブチッとちぎれます。



力ではなくって、力の向きなんですよね。
う～ん。口では説明できない、このもどかしさ。
何度もやってみると、ふと分かる瞬間があるんですが。

『ろくろは慣れ』っていいですからね！

でも今回の講座では作品作りがメイン♪
土殺しだけじゃなくって、作品を作ってみよう！

職員にアドバイスされながらソロソロと器を作っていきます。
粘土をやさしく伸ばしていき、思った形に近づけます。





お茶碗、カップ、皿などドンドン出来上がっていきます。

やはり大人の方が多かったこともあり、かなりきれいな仕上がり。



形もとってもきれいに出来ました♪

電動ろくろってかなり集中力が必要なんです、みなさん久しぶりにグッと集中する時間を楽しんでいたみたい
です!!!

そして土の感触☆☆☆

なかなか土を触る機会ってないですもんね。土や泥の感触を満喫していただけました♪

さて、このあと作品は職員がきれいに底の削りをして仕上げます。

高台ができると、また雰囲気変わりますからね♪

できあがり楽しみにしててください!!!

にっしーのイベント報告<<『本格』薪窯やきもの体験>>8/26(日)

さあ〜て、8月も残りわずか!

夏も終わっちゃいますね。

今年の夏はどんな夏になりましたか??

陶芸教室に遊びに来る福井の子供達はみんな真っ黒 (*^_^*)

海やプールで思いっきり泳いだりしたんでしょうね。

自分の子供のころもまさに「真っ黒」になるまで一生懸命遊んだのを懐かしく思います。

そして、この時期は恐怖の夏休み宿題地獄・・・。

毎年早めに終わらせようと思うのに、なぜか進まない夏休みの友(←夏休みの宿題として渡されるドリルのこと。

全然『友』じゃないし・・・)

小学生たちは今頃最後の追い込みに入っていることでしょう。

ファイト!!

さてさて、陶芸教室では資料館で開催中の特別展『薪窯と土の美』のワークショップとして<<『本格』薪

窯やきもの体験>>という体験イベントを行いました。



今回の目玉は何と言っても、作った作品を実際に薪窯で焼成する！ってところです。

そして今回は特別に陶芸家の梶田屋光生氏に講師として来ていただきました！！

今回の講座はやっぱりいつもの講座と違い、受講者の方は大人の方ばかり。
しかも陶芸経験者の方がたくさんいらっしゃいました！

趣味で陶芸をしていますが、なかなか薪窯で作品を焼く機会はないですもんね。
やっぱりみなさん薪窯に興味あるんだなあっと嬉しくなりました♪

まずは資料館に移動して特別展『薪窯と土の美』を見学します。
特別展担当の学芸員から説明を受け、約30分かけてじっくり見ます。



自分がどのような作品を作るかイメージを膨らませながら・・・。

梶田屋先生にいろいろ質問しながら・・・。



越前焼の美しさ、力強さを感じていただけたようです(^_^)v

じっくりと薪窯の魅力を味わったら、次は陶芸教室に移動して作品作りです！

今回は2kgの粘土を使います。

土は越前の荒土。

そして作品は皿などではなく、背の高い『花器』をメインに作っていただきました。

なぜ花器を作っていたかということ・・・

薪窯に作品を詰めるとき、1枚の板は大体30センチ四方なんです。

そしてその板に作品を並べいっぱいになったらツクという支柱を立てて、また次の段を積みます。

その時花器など背の高い筒状のものでしたら1枚の板にいくつか乗せられるんですが、皿だと、重ねがきかない上に一つの作品だけで板がいっぱいになっちゃうんですね(・・・)

しかも皿は火の勢いによって歪みやすい。

なので、今回は皿を作りたいという方もいらっしゃったのですが、背の高い作品でお願いしました。

では、さっそく取り掛かります！

作り方は2タイプ。

1つは通常の手びねりコースと同じ輪積み技法による**手びねり成形**。

底をつくって、ひも状にした粘土を積み上げていく方法ですね♪

そしてもう一つは**タタラ成形**。

これは粘土を板状に伸ばし、それをクルッと筒状にして底をくっつける方法です。

みなさん自分の作りたい作品によって方法を選びます。

手びねり成形の方はドンドン粘土を積み上げていきます。



作品の形をイメージしながら・・・



タタラ成形の方は最初ちょっと手こずりましたが、なんとか形になりました。



どのような形が薪窯に合うのか、どのような装飾が生きるのか、など気になったところは梶田屋先生に聞いて教えていただきます。



梶田屋先生はさすがプロです。
おお！というようなステキな装飾をぱっと出してくれます。

うん。私ももっと勉強しましょ・・・。

作り始めて1時間半。
できあがってきましたー！！

やっぱりなんだか、特別な出来上がり！
皆さんのこだわりが随所に出ています。



うん！イイ、(^o^)

さて今回の作品。焼き上がりはまだまだ先です。
そう！薪窯で焼成するのですー！！

薪窯とは越前町の窯『越前窯』です。

陶芸村総合案内所に数年前に築かれた薪窯です。

年に数回窯焚きをしています。次回10月の窯に今回の作品も入れてもらいます。

窯焚きは10月5日（金）～8日（月）

期間中は自由に見学できますので、興味のある方は見に行ってみてください♪

そしてにっしー企画の『薪窯焼成見学会』もありますよ！

10月7日（日）10：00～

薪窯についてちょっとお勉強したり、実際に薪を投入する体験などもしていただきます♪

なかなかできない体験！！興味のある方はぜひお越しください。

（※薪投入体験希望の方は必ず綿100%の長袖・長ズボンで参加してください。）

詳細はまたHPにアップしますので、チェックしてください！！

投稿者：陶芸館スタッフ | 2012年8月29日 09:07 |

落語の会

8/25（土）に常設展企画展「落語とやきもの」の関連イベントとして落語公演会を開催しました。

茶苑 大広間にて公演を聞いた後、お抹茶を一服。その後は自由に資料館を見学してもらいました。

今回はふく福落語会の都の亭小みちさんと都の亭真笑さんが「厩火事」や「猫の皿」など2話ずつ計4演目してくださいました。

ころころと変わる表情や、テンポよく進む話に笑いが起こる楽しい公演でした。

話の筋を知っていても思わず笑ってしまう。さすが何百年も愛されてきた伝統芸能です。

落語の魅力を実感しました。

落語とやきもの展は9/9（日）までです。

皆様のご来館をお待ちしています。



投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年8月28日 09:07 |

にしーのイベント報告《ベル出張陶芸教室》8/4(土)5(日)

夏休み♪夏休み♪みなさんはどのように過ごしていますか??

毎日暑くて食欲ないわぁ(-_-)・・・ってなってませんか??

陶芸館でも夏バテしてるスタッフがおります。

みなさま栄養はしっかり取って体調管理に気を付けてくださいね♪

実はにしー夏バテってものをしたことがないんです。

はい。夏でも元気いっぱい動き回っております(^_^)v

暑い夏。といえば、やっぱり海に行く方が多いんでしょうね!

でも山もサイコー!!山の上はとっても涼しいですよ♪

ただ登ってる間は汗ダクダクですが・・・。

福井は山も海も楽しめるとっても素敵なところ。

ぜひ夏を満喫してくださいね!

さて夏休みも折り返し地点にきた8月上旬。

陶芸教室では気軽に陶芸体験を楽しんでいただけるイベントをショッピングシティベルさんにて行いました!



粘土をこねてどうぶつを作ったり、電動ろくろで器を作ってみたり。

初めての陶芸体験の方も多かったですね!

まずは無料体験コーナー★

★電動ろくろ体験



電動ろくろ。そうです。陶芸といえばこのイメージですよね♪

くるくるクルクルまわる電動ろくろです！と粘土を伸ばしていき器を作ります。

電動ろくろは器の形を作る前の準備が結構大変！！
今回は器を作る工程だけを体験して頂きました。

子供も大人もみんな土の感触に夢中になります。
スタッフがサポートしながら粘土を伸ばしていくと・・・
スルスル変化する粘土に大喜び＼(^o^)/
この感覚。おもしろいですよねー♪

★どうぶつランド

粘土を使って好きな動物を作ってもらい、それをジオラマに展示してみんなのどうぶつランドを作ります。



こちらは小さなお子様も夢中になって粘土をコネコネしてくれてました。



ゾウさんやへび、キリン、カメ、ワニ、ウサギ、パンダ、恐竜などたーっくさんの作品が並びます。



どの作品もとってもイイ感じ♪



子供の作るどうぶつ達って私たちが見ても『はっ』とするくらいカッコいいのが結構あります。

自由に粘土をさわるので、子供の本当の想像力とかが出ておもしろいものが作れるのかもしれないですね（^-^）

そしてもう一つ有料コーナー★

★ゆのみマーカ―絵付け

このコーナーは専用のマーカ―でゆのみに絵付けをしてもらい、お家のオーブンで焼き上げていただくという内容。

夏休みの思い出をゆのみいっぱい描いたり、かわいい女の子を描いたり。
みんなカラフルに仕上げていました♪

残念ながら写真を撮り忘れてしまって・・・。

このコーナーだけ写真なし！

すいません！！

そして！今回の**ピカイチ賞！！**

なんと粘土で作ったMYマイクで、EXILEを熱唱する男の子(^o^)/

このマイクちゃんとスイッチまで付いてます。



そして、この表情・・・



すごいステージ慣れしています。
大人顔負けだわ(@_@)

8月最初の土、日ということもあり、福井県内はいろんなところでイベントをしていました。
なのでいつもベルさんでするイベントの時より気持ちお客様が少ないような・・・？

でも、その分じっくりと粘土に触れて、ゆっくりと陶芸体験を楽しむ方が多かったように思いました。
きっと粘土の感触にハマってしまった方がたくさん陶芸教室に遊びに来てくれることでしょう♪

みなさん！お待ちしております（● ^ o ^ ●）

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012 年 8 月 10 日 09:07 |

にしーのイベント報告《古代のはにわをつくってみよう！》7/22(日)

毎日あついですなあ——(; _ _)
太陽の光がジリジリ ギリギリと突き刺さります。

アウトドア派の私の腕はもう真っ黒！！
女性ではなかなか見ない立派な時計焼け・・・。

みなさま、この時期の紫外線は大変危険です。
陶芸村へ遊びに来るときにはしっかりお肌の保護をしましょう！

さて、夏休みが始まって最初の週末となった 22 日。
陶芸教室では夏休み企画『古代のはにわをつくってみよう！』が開催されました♪



今回はなんと 26 名の方が参加してくださいました。
一緒に来ていた親御さんたちを含めると合計 40 名の大盛況！！

夏休み企画、やっぱり人気ですね(^_^)v

今回の講座は初めて特別講座を担当するナガイ先生。
前々日からみっちりリハーサルを重ねて講座に臨みました。

まずははにわクイズ大会スタート！！

1 もんめ

はにわは何に使われた道具でしょう？

- A：おへやにかざるお人形(インテリアグッズ)
- B：しょうぎやチェスみたいなゲームのコマ
- C：おはかにかざるもの
- D：こどものオモチャ

2 もんめ

はにわは、いつからつくられてきたでしょう？

- A：ジュラ紀
- B：大和時代
- C：江戸時代
- D：明治時代

3 もんめ

はにわは、どんなやき方でやくでしょう？

- A：電子レンジでやく
- B：かまでやく
- C：野やき(原っぱでやく)
- D：フライパンでやく

4 もんめ

はにわは、どんなカタチのものがあるでしょう？(あると思うものをすべて選ぶ)

ひこうき ・ うし ・ ひと ・ さかな ・ いえ ・ うま ・ くるま ・ にわとり ・ ちゅーり
っぷ ・ しか ・ いぬ ・ れいぞうこ ・ たたかいのどうぐ ・ いのしし

みんなで和気あいあいとクイズを考えていきます。

意外と難しいこのクイズ。

残念ながら全問正解者はいませんでした(T_T)/~~~

ではここで答え合わせ♪

1 もんめ 答え C：おはかにかざるもの

はにわは、古墳（王室の墓）のまわりを飾るためにつくられたもの。
古墳に埋葬された人の聖域を守る魔除けのような役割をもっていたみたいです。

2 もんめ 答え B：大和時代

今から約1500年前の大和時代につくられていました。
大和時代は別名『古墳時代』とも言われていて、たくさんの古墳が出土しています。

3 もんめ 答え C：野焼き

窯の技術などがまだ入ってきなかった時代。やきものを焼く方法として『野焼き』が主流でした。
野焼きでは約600～800度になり、陶芸教室でしている素焼きの温度に近いです。

4 もんめ 答え

うし ・ ひと ・ さかな ・ いえ ・ うま ・ にわとり ・ しか ・ いぬ ・ たたかいのどうぐ ・ いのしし

あなたはもうできましたか？全問正解できましたか？？

これで、はにわのことが少し分かったかな？

それではいよいよ、はにわづくりに挑戦＼(^o^)/

まずは粘土のひもを作って、はにわの大きさに合わせてろくろの上に丸く円を作ります。
土台のひもは、しっかりとろくろにくっつけて！



そしてたくさん粘土のひもを作り、どんどん積み上げていきます。



頭のとっぺんは蓋をしてまる〜く整えます。



あとは穴をあける道具で目と口をあけて、顔を作っていきます。



顔ができると急に表情が出来てイイ感じ～(*^^)v

あとは好きな模様をつけて・・・♪



完成！！



ズラッと並ぶ個性豊かな、はにわ達。
おもしろーい♪





みんな個性豊かで、見ているだけで楽しくなりますね (●^o^●)

はにわ達は夏休み中には完成予定です！

待っててくださいね～♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年7月24日 09:07 |

夏のおすすめ

あついあつい日が続きますね。

みなさま、体調は崩されていませんか？

今日は、久々の登場、いとうが、

夏のおすすめ手ひねり作品を、紹介しようと思いまーす (^ー^)/

まずは、ひとつ目。

こんな、あつ～い季節には、海に行きたくなりますよね。



ペンギン、カメ、サカナ
自分の好きな海の生き物の、置き物。
サカナ型のお皿。
ヒトデのついたペンたて。
などなど。



海での思い出を
カタチに残してみませんか？



続きまして、

大人のみなさまには、
こちら。
夏といえば、やっぱりビール！

自分用のビアカップを作るもよし。
ペアのを作るのもよし。

焼酎カップもいいかも～ (*^_^*)



ペアのカップは、
小さめで、薄めで。
高さがほしい時は、
しゅっとした形に。
そうすると、
1kgで2個つくれます。
自分のつくった器で一杯
ますますお酒がおいしくなりそうですね。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年7月20日 09:07 |

にっしーのイベント報告《電動ろくろ1日体験講座》6/24(日)

梅雨に入ったのに・・・。

なんだか晴天が続いています。

そうすると、週末には雨かなあ・・・。

につきーは山登りが好きなのですが、今週末は北陸の名峰「白山」に行く予定なんです。

なんとかお天道様にお願いしなくては！！

でも、こんなに晴れが続くと、なんだか気分もウキウキ♪

どこかに出かけたくくなりますよね。

そんな時は自然いっぱいの陶芸村へ GO！！

芝生の広い公園で思いっきり遊べますよ♪

さて、陶芸教室では 24 日の日曜日に、いつも大人気の『電動ろくろ 1 日体験講座』が開催されました。



今回も受け付け開始すぐに、予約でいっぱいになるぐらい。

電動ろくろはやっぱり人気です(*^_^*)

さてさて、今回も午前 6 組・午後 6 組の受講生の方が集まりました。

皆さん楽しみにしてくれていたのか、集合時間までに全員が揃いスムーズにスタート！！

今回の講座はいつも窯場であっつい中、みんなの作品を一生懸命焼き上げている A 先生が担当。

まずは陶芸が出来上がるまでの流れを簡単に説明します。



粘土の状態から形を作って、削りをして、素焼き、釉掛け、本焼きという工程を説明。

はい。

焼物が出来上がるまでって、結構大変なんですよ(^_^;)

そして A 先生の実演♪



初めて見るろくろ。

あっという間に形を変える粘土。

子供も大人もみんな注目！

ろくろで作るのも一筋縄にはいかないんです。

でも、頭でっかちに考えるより、まずは粘土を触って楽しむのが先♪

まずはろくろの前に座り、『土殺し』という作業をして、粘土を扱いやすい状態にします。

でも、なかなか粘土が言うことを聞かず、「ヴー」という感じ。(分かります?)

まあ、粘土との格闘はこの辺にして、次は気持ちよく作品を作ってみましょう♪

今回は結構大物に挑戦する方がたくさんいました。



大きな鉢や、お花を生ける水盤、花瓶など。

こういうのを作りたいというイメージがハッキリしていたんですね。

職員も手伝いながら、一つ一つ作品を仕上げていきます。



1台のろくろで4kgの粘土を用意していたのですが、みなさん4~6個くらいの作品が出来上がりました(^_^)v



結構いい形のものが多いです。

きれいに仕上がっています。

手ひねりとは違う楽しさの電動ろくろ。

1日体験講座は年に3回開催しています。

次回は9月9日(日)!

電動ろくろを体験してみたいという方はぜひお申し込みください。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年6月27日 09:07 |

にしーのイベント報告《三島風オリジナル皿を作ろう》6/10(日)

今回の特別講座は現在資料館で開催中の春の特別展『朝鮮陶磁展』の体験イベントです。
特別展示室には山口県立萩美術館からお借りしてきた高麗、朝鮮王朝時代のやきものが並びます。

そこで、教室で開催するのは「三島風」の皿を作るイベントです。

三島って???

はい、そこですよ。

初めて聞く方にはどんなものかよくわかりませんよね。

三島とは、高麗末期より李朝初期にかけて生産された朝鮮の焼物の種類なんですが、「三島」という名称は日本独特のもので、わが国の茶人が命名したらしいです。

三島の由来にはいろいろあるんですが、昔三島大社より頒布していた暦とこの焼物の文様が似ているからとか、昔焼物を売買していた現在の巨文島という島を朝鮮では三島と呼んでいたからとか。いろいろあるんですが、どの説が正しいかは分かっていないみたいです。

ウ——ン(>_<)

なんだか難しくなってきました・・・。

でも今回は『三島風』ってことでもっと気軽に楽しみましょう♪



今回の講座は特別講師に日向工房の日向光先生にお越しいただきました！！



日向先生は越前の若手陶芸家を指導している方で、とってもあったかくて優しい先生です。
にっしーも福井に帰ってきて陶芸の勉強を始めたときから、ずっと日向先生にお世話になっております。

まずは日向先生から今回の「三島」風についての説明があり、作業手順を確認します。



今回作るのはタタラ皿というもの。

タタラとは粘土を板状に伸ばすことです。

つまり板状にした粘土で好きな形の皿を作りたいという感じ♪

そして、今回大切なのが粘土に施す「三島風」の文様です。

手順としては・・・

まず石こうをトイレットペーパーの芯の中に流し固めます。

そうすると、円柱状の石こうができます。(ここまでは講座担当のIちゃんがんばって用意しておきました)

その円柱に好きな模様を描き、彫刻刀などでしっかり彫っていきます。

まずは石こうに下書き！



好きな模様を選びます。





下書きが出来たら、いよいよ彫刻刀で彫っていきます。



この作業が結構大変。
そしてみなさん超真剣！！

石こうを仕上げるだけで1時間ぐらいかかっちゃいました。

あとは2kgの粘土を板状に伸ばしたものに石こうをコロコロして模様をつけていきます。



コロコロ



コロコロ



みなさん立ち上がってコロコロ

きれいに文様がうつったら、好きな形に粘土を切り取り、まわりを立ち上げ皿にしていきます。



よいしょ！



そして出来上がりは・・・



おおおおお！
ステキ＼(^o^)/

きれいな文様が出ています。



かなりイイ仕上がりにみなさん満足そう♪
出来上がりが楽しみです！

講座参加のみなさんありがとうございました！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年6月12日 09:07 |

にっしーのイベント報告《マルシェワンダーランド》6/10(日)

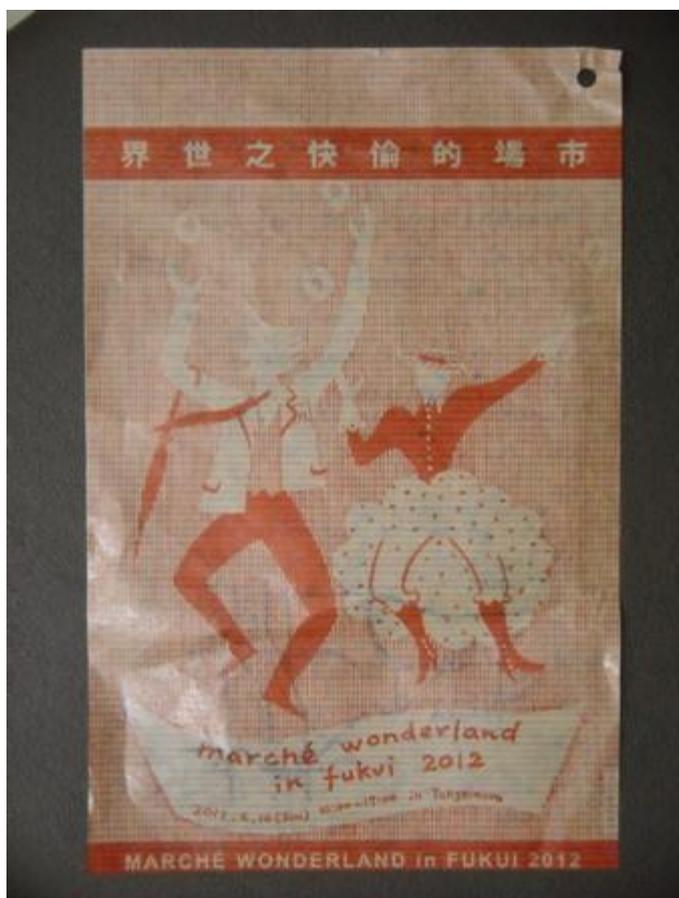
ついに福井も梅雨入りしました。

ジメジメ・・・ムシムシ・・・

でもこのイベントのパワーはそんなジメジメを吹き飛ばす勢いでした！！

今回初めて陶芸村で開催された

『マルシェワンダーランド in FUKUI 2012』



なんと出店数約**100店**！！

たべもの屋さんも美味しそうなお店が！！

そしてステージパフォーマンスが**9団体**！！

スゴイ♪スゴイ♪ 楽しそー！！

このイベントはエリアを区切って、入場券制になっています。

前売り券は 1000 円で買物券 700 円分付。

当日券は 1000 円で買物券 600 円分付。

前売り券だけで **1300 枚**も売れたらしいです(@_@)

すごいネットワークです。

このイベント、ブログや Twitter や Facebook など宣伝していたみたいです。

ネットの力はすごいです！！

入場開始が 10 時だったのですが、10 時前からかなりの人が並んでいます。



なんだかオシャレな若者たちがたくさん♪

ゲートも手づくりらしいです！オシャレ！！



そしてテントの並ぶエリア内は、たくさんの人で歩くのも大変な感じですか(・・・)



エリア内のステージではマダム達のフラダンスが行われていました。



ステキ♪

たべもの屋さんも大繁盛♪



あああ、いい匂い(@_@;))

一つ一つのお店をじっくり見て回りたい～！！

でも、時間がない～！！

後ろ髪をひかれつつ、おとなしく教室に戻ってきました。

教室もマルシェに合わせて、教室前にテントを張りイベント開催♪

今回は毎度おなじみの『電動ろくろ無料体験コーナー』と、以前ベルで実施して好評だった『マーカ―絵付けコーナー』です。

普段陶芸村に遊びに来たことがない方も多く、電動ろくろにみんな興味津々（^ v ^）



順番に体験していきます。



僕の方が上手だったー！と競い合う兄弟。（みんな上手に出来てたよ！）

たくさんの方に体験してもらえてよかったです！

もう一つのコーナー『マーカ―絵付けコーナー』も人気でした。



このマーカ―は特別な専用マーカ―で、お家のオーブンで色を焼き付けることができます。

今回は越前の土で作ったゆのみを用意しました。

そしてみんなマーカ―で好きな絵を描いていきます。



カキカキ

完成(∩o∩)ノ



みなさん、こだわりのゆのみ完成です！
あとはお家で焼いてくださいね♪

マルシェワンダーランドは予想を超えるたくさんの方にご来場いただき大成功でした＼(^o^)/
今後もこんな楽しいマルシェが続くといいなあ♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年6月12日 09:07 |

にしーのイベント報告《第32回越前陶芸まつり》5/26(土)~28(月)

今年もこの季節がやってきました！！

陶芸村で開催される一大イベント《陶芸まつり》

越前焼の窯元さん 60軒以上が集まる、とっても大きなおまつりです。

毎年5月の最終土日月に開催されているんですが、去年は季節外れの台風に泣かされ散々でした(>_<)

今年は・・・？



晴天＼(^o^)/ ♪ ♪ ♪

3日間もとってもいいお天気で、暑いくらいでした。

ふふふ (●^o^●) 今年はっしー『晴女』なんです！

陶芸教室では『電動ろくろ無料体験コーナー』と『青空絵付け教室』を開催！

やっぱり陶芸体験は大人気♪

手ひねり教室も合わせると3日間で600人弱の方に陶芸体験を楽しんでいただきました。

電動ろくろの無料体験は以前からイベントの時には開催していますが、今回もたくさんの方が楽しんでましたよ。



やっぱり「陶芸」っていうと電動ロクロのイメージですよね♪
映画『ゴースト』の影響大??



スルスルと形を変える粘土。
大人から子供まで夢中です(^o^)

青空絵付け教室では、土日だけで絵付けしていただいた方 **237** 人！！
大盛況です。
もう座るところが無いくらいで・・・。



毎年陶芸まつりの時に絵付けをして作品を残している方もいてなんだかとっても嬉しくなりました♪
お子さんの成長記録にもなりますね☆なるほど～。





今年の陶芸まつりは、大成功！！

来年も晴れるといいな(＾o＾)！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年5月29日 09:07 |

てくてく日記 花々満開。

こんにちわ。春まっただ中ですね。

新年度になったので、てくてく日記というものを書いていこうと思います。

てくてく日記では、のんびりとした村の風景や植物やいきものなどなど紹介したいと思ってます。

どおぞ、よろしくお願ひします。

今日は、ポカポカ。。

空がとっても高くて散歩日和。

そんな今日は、八重桜が満開になりましたー



たわわに咲いております～



陶芸館正面にある八重ちゃんたちです。

機会があったら見にきての～～お

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年4月27日 09:07 |

にしーのイベント報告《第2回しだれ桜まつり》4/21(土)

ぽかぽか陽気に誘われて、陶芸村の桜たちもいっせいにかわいい花を咲かせました！

今回は2回目の『しだれ桜まつり』



意外と知られていないのですが、陶芸村にはたくさんの桜の木があり静かな環境の中ゆっくり桜を楽しめるんですよ♪

市内に比べて1週間くらい開花が遅いので、福井市や鯖江市などの桜が終わったところに陶芸村は満開になります。なが〜く桜を楽しめるのがいいですね(*^^)v

去年から開催しているしだれ桜まつり。

よく「どこにしだれ桜があるんですか？」と聞かれますが・・・



ド——ン！！

まずは満開のしだれ桜がお出迎え。



アップしてみました。きれいです(*^。^*)

そして、メインのしだれ桜は公園の一番奥にひっそりと佇んでおります。
なかなか奥まで桜を見に行く方はいないので、しだれさん、ちょっと寂しそうです。
来年の桜の時期にはぜひ一番奥の公園までしだれさんに会いに行ってください。

陶芸村開催ということもあり、窯元さんのテントが並ぶクラフト市、地元のおいしいものを取りそろえたお店、桜の下でお抹茶が飲める茶席、そして陶芸教室からは青空絵付け教室と電動ろくろ無料体験コーナーなど。そして夜には桜のライトアップや、花あかりチャリティーコンサート、ナイトミュージアムなどしっぽりと。

桜と陶芸を一度に楽しめるよくばりイベントですね♪

土曜日はいいお天気だったこともあり、たくさんの方がまつりを楽しんでいました。



ちょっと青空絵付け教室を覗いてみましょう。



クラフト市のところにコーナーを作り絵付け教室開催。
絵付け用のクレパスで描くんですよ♪

みんな今日の記念に♡



カキカキ



カキカキ



できた！



こんな感じでかわいく出来上がります。あとは焼きあがるのを待っててくださいね～！

電動ろくろの無料体験コーナーは？



陶芸教室前にテントを張り、特設コーナー完成。

ここでは作品は残せませんが、普段触ることのできない電動ろくろでの作陶体験ができます。
アッという間に粘土が形を変え、スルスルと器の形になっていく様子にみんな感動！

普段泥や粘土をさわったことのない子供たちはまず泥の感触が面白いようでしきりに手を気にします。
でも、器の形が出来てくると『うわ〜！』と大喜び、(^^)!



いい手つきですね～！

土曜日はいいお天気で桜もきれいだし、最高のまつり日和でした。

でも・・・

またきました。

春の嵐が～(-_-;)

日曜日は朝からすごい風と雨。

残念ながらしだれ桜まつりは中止になりました。

せっかく満開だった桜たちも風に負けて散っちゃいました～。残念。

最後に桜の下での茶席の様子を・・・



いい雰囲気♪ おいしいお抹茶も満開の桜の下でもっともっとおいしくなりますね。
とってもいい時間です。

今年桜を見れなかった方！来年の桜まつりにはぜひ遊びに来てください♪

投稿者：陶芸館スタッフ | 2012年4月24日 09:07 |

にしーのイベント報告《電動ろくろ 1 日体験講座》4/15(日)

いよいよ陶芸村にも春がやってきましたよ～！！

たくさんの草花がニョキニョキ芽を出して、いろんな虫たちがモゾモゾ動きだし、なんだかワクワクしちゃいます♪

さて、今年度 1 発目の講座はいつも大人気の

『電動ろくろ 1 日体験講座』

今回もすぐに定員になっちゃいました。



今回はどんな作品が出来たのかなー??

今回も友達同士や、ご家族、カップルなどたくさんの方が参加してくれました。

みなさん、とっても楽しみにして下さったのか、集合も早かった(*^*)v

まずは職員によるデモンストレーション！

目の前でスルスル形が変わる粘土にみなさんビックリ。



「出来るのかなあ」と不安そうな子供たち。

大丈夫♪

とりあえず粘土をさわってみよう(^o^)

最初は恐る恐るさわっていましたが、

徐々に調子が出てきて、ついつい力が入り…

ブチッ

と粘土が切れちゃうこともありましたが、

みなさん丁寧に作品を作っていきます。

家族みんなのごはん茶碗

こだわりのお皿

手作りのマイカップ

などなど、みなさん気合入ってます。



わ〜い！できた——＼(^o^)/



こちらのカップルは結婚式でご両親にプレゼントするゆのみを一生懸命作ってました。
素敵なプレゼントですね♡♡♡

お幸せに！



日本酒をおいしく飲むためのぐい呑み。お父さん力入ってます。



大満足のいい笑顔♪♪♪

ベテラン並みにたくさんのお皿が並んでいます。

今回もみなさんとってもステキな作品が出来上がりました。

電動ろくろを楽しんでもらえたかな??

皆さんの感想を少し・・・

- ・土が自分の指一つでいろいろ変化するところがとてもおもしろく、集中できてよかったです。
- ・土の感触がとても気持ちよかったです。子供が夢中になって楽しそうに作っていて、うれしかったです。
- ・思ったよりかなり難しく、又チャレンジしたい。

「いやあ～、陶芸って本当にいいもんですね～」(水野晴郎風)

村こよみ 弥生

木草弥や生ひ月 (きくさいやおひづき)

草木がいよいよ生い茂る月です。

春のはじめといえば、やっぱりこれ！



いつの間に～

こんなにおおきくなったんでしょ。

3月5日は啓蟄でした。

本当に、むしがもぞもぞでてきました。

どこに隠れていたのか、カメムシが動きだしました。

こちらでは、へくさ虫とかへくサンボと呼ばれて親しまれて(?)います。

落ち葉の中にもカサカサうごくものあります。



青い空、春の空気、におい、鳥の声
水たまりにうつった光のゆらめき、
写真ではとれないけれど、いっぱい肌で感じられます。



昨日は雪がふったり！していたので、ひさしぶりの青い空です。

お花は、こちらではだいぶゆっくりしていますが、見つけました。



ちょっとピンぼけですが、真ん中くらいに1個だけ！
梅の木です。

そして、今日はちょっとかわった落し物を見つけた。



ん？



んん？

3センチくらいのたまごみたいです。

だれのですか？

はやくとりにきてね。

春は、卒業の季節でもあります。

村こよみもこれにて卒業いたします。ありがとうございました。

でもまた、4月から新しいブログがはじまりますので、楽しみにしてくださいね！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年3月27日 09:07 |

にっしーのイベント報告《出張陶芸教室 in ベル》3/17(土)・18(日)

楽しい春休みなのに、春一番が吹いたのに、 さむい・・・ (°_°)

そんな時、福井っ子が集まるのは憩いの場「ショッピングシティ ベル」♪

陶芸教室ではいつもこの時期にベルさんにて「出張陶芸教室」を開催しています。

このイベントは今年で3年目。

毎年たくさんの方が楽しく陶芸体験してくれています。



今回のイベントは

- ・電動ろくろ無料体験コーナー
- ・どうぶつランド（粘土体験コーナー）
- ・ごはん茶碗 マーカー絵付け教室

の3コーナーで開催。

いつも大人気の電動ろくろの体験は今回もず〜っとお客様が途絶えず大賑わい、(^o^)



小さな子供たちから大人の方まで、みなさんスルスル伸びていく粘土の感触を楽しんでいました。



見よ！この真剣な表情。

どうぶつランドは、みんなで作ったどうぶつ達をたくさん並べてどうぶつランドを完成させるコーナー。粘土で思い思いのどうぶつを作っていました。

最初はこんな感じ・・・



みんなにたくさん粘土で作ってもらって・・・



並べるとこんな感じ！！ すごい！たぐさ～ん♪



おお～！かっこいい恐竜♪



今回初試みのごはん茶碗 マーカー絵付け教室。

これは特殊なマーカーを使ってごはん茶碗に絵付けして、お家のオーブンレンジで焼き付けて仕上げていただくという内容。

今まで粘土や絵付けの体験をしても、その場で持って帰れないのでお客さんも残念そうでした。

体験した日に持って帰って完成！！というのは、かなり新しい♪ですよ（^ー^）

ごはん茶碗は全部で 100 個以上用意していたのに、全て売り切れ。

全然足りずにすいません・・・。

やっぱり「お持ち帰り体験」人気ありますね♪

いろんな色のマーカーで楽しく絵付け！



イベントでは体験してくれた方にアンケートを取りました。

ちょっとみなさんの感想をご紹介します！

- ・初めてろくろを体験した子どもの顔が、とてもイキイキしていて、すごく良かったと思います。
- ・子供たちが思い思いに粘土で遊んでいました。今の子はゲームばかりなので、**表現力や想像性**などが育まれそうで、とっても良いと思いました。
- ・もともと土で遊ぶのが大好きな子供だったためか、作るのがうれしかったのか、**自分から「したい。」**と言い、うれしそうに作っていました。楽しかったみたいです。
- ・4才の子どもが体験させていただきました。**初めての感触でとまどった表情**でしたが、出来上がったときはとても嬉しそうでした。絵付けも「上手にできた～」と大喜びでした。
- ・5才の子供がやりたいと言ったので、ろくろ体験をさせていただきました。**なかなか体験できないこと**なので、本人も喜んでいました。
- ・親子ともとても楽しく土とあそべました。電動ろくろの体験はなかなかないので参加できてラッキーでした。また体験に来ます。**子供も夢中でもっとやりたい**と言っています。
- ・7才の子供が初めてろくろと土にさわりました。少し力を入れただけで、土が**ビョーン**とぐちゃぐちゃになりそうになって、お兄さんに助けていただきました。楽しかったと言っていたので、一度行ってみようと思います。
- ・久しぶりに粘土に触り楽しかったです。子供たちも**家では粘土遊びはしないので嬉しそう**でした！
- ・子供にとって**初の粘土体験**で、家ではあまり出来ない経験なので親子共に楽しめました。

マーカー絵付けのコーナーでは

- ・主人の誕生日だったので小さな子供でも手軽に出来てとても良かったです！**良いプレゼント**になりそう(^o^)
- ・とても楽しかったです。**思い出の品**として大切に使いたいです。

粘土を触ったり、絵付けをしたり、普段はなかなかできない体験を楽しんでもらえたみたいですね(^_^)v
陶芸教室では今後もたくさんの方に陶芸体験してもらえる場を作っていきたいと思っています！！

待っててくださいね～！

にしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座 最終日》

あっという間に3月になりましたね。
春ももうすぐ・・・。

なのに、今日も雪がちらちらと。
まだまだ寒いですね。

さて、11月から始まった電動ろくろ入門講座。
なんと今回が最終日です！！

ココまでの5ヶ月間、長いようで、あっという間なようで。

皆さんの力作♪どんなふうになっているのでしょうか (^v^)



今回最終日『窯出し』ということですが、あれ??なんか抜けてしまっています。

そうです。

3月4日の講座報告が抜けていました（汗） スイマセン。

前は『釉掛け』だったんです。

釉掛けって???

釉薬を表面にかけるんですが・・・。

焼き物の表面ってガラスみたいにピカッてなっていますよね。

あのガラス質の部分が釉薬です。

器に強度を持たせたり、いろいろな色をつけたりします。

釉薬の中に含まれる金属質などによって焼き上がった時の色が決まるんですね。

釉掛けする時は、まず素焼き（800度くらいで一度焼く）した作品の表面をヤスリできれいにします。



そして、酸化鉄と呉須という下絵具で模様を描きます。

あとは自分の好きな釉薬を器全体に掛ければ完成！！





残す工程は『本焼』です。

陶芸館では電気窯を使っています。

大きめの窯なので一度にたくさんの作品を焼くことができます。



こんな大きな窯なんですよ！

本焼は約1250度の高温で作品をしっかり焼締めます。

高温の窯の中で釉薬が融けて、ツヤツとしたガラス質になるんですね。

焼き上がった作品はピカピカ光っています。

最後に高台の部分をサンドペーパーで滑らかにします。

この最後のひと手間が大切ですね♪

スリスリ



ピカピカ



さて、出来たてほやほやの作品を使ってみんなでお茶を飲んでみましょう！！

かんぱ〜い♪



作った時よりもかなり小さくなっていますが、満足満足（^ u ^）

ここで少し皆さんの感想を。

- ・菊練りがだんだん菊練りっぽくなっていくのが楽しかったですが、出来上がりが未熟だった時は残念だった。土の準備がうまくできるようになりたい。
- ・1人で行ってもとっても楽しくできました。値段も安いので遠くから来るかいあります。
- ・このまま続けてゆっくりでもよいので、いつかは自分の作りたいものが思うように形になるよう成長していきたいです。
- ・講座の内容もどうしたら作品が出来るのかの流れがよく分かり参加できてよかったです。

みなさん5ヶ月間お疲れさまでした。

電動ろくろ、いかがでしたか??

全12回の講座ではなかなか技術を自分のものにするのは難しいと思いますが、これから陶芸を続けていってもらう1つのきっかけになったら嬉しいです。

これからも陶芸楽しんでください♪

『電動ろくろは慣れた。繰り返し繰り返し。』

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年3月13日 09:07 |

村こよみ 如月

2月には、小草生月（おぐさおいづき）や木芽月（このめつき）、早緑月（さみどりつき）など、小さな緑が生まれてくることを感じる別名があって、ほっこりします。

19日は、雨水ですね。

「陽気地上に発し、雪氷とけて雨水となれば也」
農耕の準備です。

とはいえ、こちらは雪氷真っ只中です。

ちょっとまだ準備をする気分にはなれませんよ。



立派です。



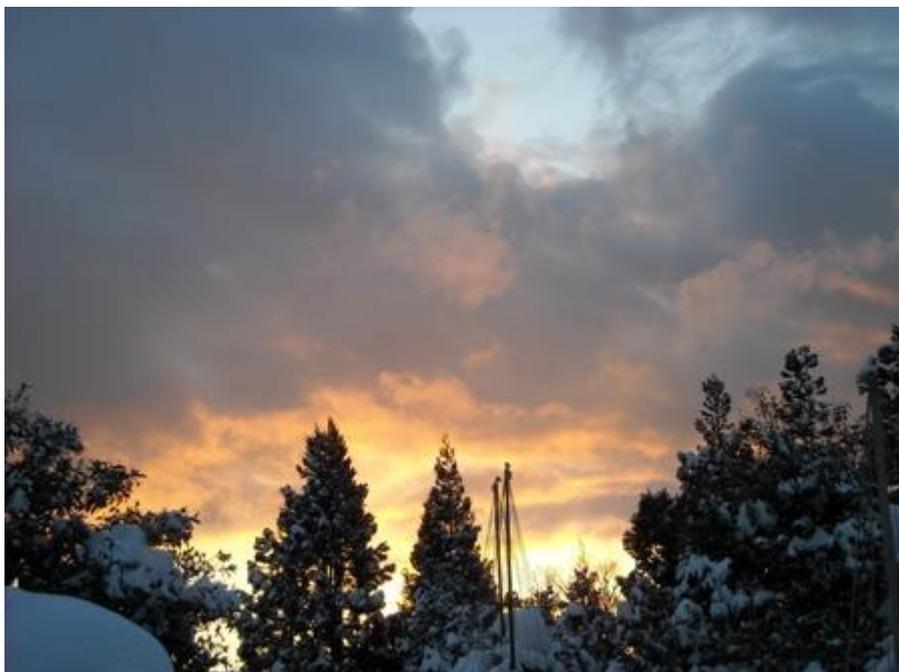
立派です。



ふわふわの雪が積もって、杉の木がもこもこに見えました。
あったかそうに見えたけど、そんなことはありませんでした。(あたりまえ)

白い空、灰色の空、ときどき青い空です。
でも、ときにはこんな日もあります。





山をおりたところの日本海に日がしずみました。

・・・おやすみなさい。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年2月18日 09:07 |

にっしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座⑩》

今日は雪も小休止。

久しぶりに太陽が出ていました。

今年は雪が降るたびにニュースで「北陸地方」が取り上げられていますね。

福井の中でも大野・勝山ではお家がかわいそうなくらい雪が積もっているみたいです。

陶芸村はそこまでは積もってないですが、やっぱり市内に比べると『多いなあ』って感じです。

そんな陶芸村まで講座の方たちはがんばって通ってくれています。



今回は『削り』

いやあ～、この削りが難関なんです(+o+)

まず『削り』とは??

ろくろでひいた作品の底を削って「高台」という部分を作ります。

器の底のまるいところですね。



ろくろでひいた作品は、そのままとまだまだ底が分厚いのです。

その部分を削って器に台をつけてあげるんですね。

でも、この『削り』がゲンナリするほど難しいんです。

みんなが嫌になる一番の理由は何かにつけて『芯出し』をしなきゃいけないってところです。

『芯出し』は何度も何度も練習しないとなかなかできないものです。

その芯出しが何度も何度も必要になるので、多分ろくろを始めた方が一番憂鬱になる工程かもしれません。

でも、ろくろは慣れ！！

体で覚えるしかないのです！！

では、がんばりましょう♪

まず器を逆さまにして置く台「湿台」をろくろの中心に合わせます



湿台を据え付けたら次は器を乗せてキレイに中心を出します



そしたら、内側の形に合わせて外側のラインを削っていきます。



すこ~しずつ、あわてないで！

1つの器を削るのに30分以上かかっちゃいました。

でも出来上がった作品を見ると、自分で仕上げた器はカワイイですね(^v^)



さて、なんとか削りを終えて、入門講座も残すところあと2回！！

次回は最後の工程『釉掛け』です♪

もうすぐ完成ですよ～(^_^)v

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012 年 2 月 14 日 09:07 |

村こよみ 追伸

今日 (1/26) もつもらいました。



きのうの写真と比べてみてくださいね。

まだまだふりそうです。

しんしん

しんしん

しずかな午後です。



遊びにきました。
雪だともめだっていますよ。



とまりごこち（のりごごち？）はどうでしょうか～？

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年1月26日 09:07 |

村こよみ 睦月

一晩で



雪がこれだけふりました。

しばらく雨やくもりのお天気だったので、
ついについに冬将軍さん、やってきましたね。

朝は、せっせと雪かきです(>_<)



道ができました。

このあと、もう少し道をひろげます。

でも、明日にはきっと埋まってしまいます・・・

サムイサムイともっていたら、1月ももうおわりになってしまいました。

だいぶ遅いですが、今年もよろしくお願ひします。

1月の朝の写真です↓

霧の日　　どこもかしこも真白で、幻想的でした。



氷の日もありました。



そして、雪の日の今日 (1/25) です。



枝1本1本に雪がくっついていきます。

枝の多い木は雪まみれでだいぶ重そうです。大丈夫かな？

遠くの間々も枝という枝や葉が白くなっていて、楽しい景色です。
杉の木の山は、砂糖菓子みたいに木にポンポン雪がのっています。
写真がなくてごめんなさい。

寒そうな写真ばかりになってしまいましたが、
雪合戦し放題だし、雪だるまづくり放題だし、ソリもできるので
元気な人はぜひどうぞ。

あ！陶芸体験はあったか〜い部屋でできます（^ u ^）

投稿者：陶芸館スタッフ | 2012年1月25日 09:07 |

皆様お久しぶりでございます。

『あっ』という間に 2011 年も過ぎ、新しい年がやってきました！！

さて、2012 年はどのような年になるでしょうか？

私は趣味に没頭する 1 年になりそうです(^_^)v

陶芸教室で 11 月から開催している《電動ろくろ入門講座》

全 12 回の講座ですが、実は今回が 6 回目。

ついに折り返し地点です。



みなさん全く初めての電動ろくろでしたが、この 6 回でみるみる上達していますよ♪

今回は 1 月最初の講座日。

実は 12 月の最終講座日から 1 カ月もあいてしまっているのですが、せっかく覚えてきた菊練りや、土殺しをみなさんが忘れてしまっているんじゃないかとスタッフも心配していました。

でも、土をさわって菊練りしてみると…



おおお！意外と覚えているじゃないですか(●^o^●)

一度体が覚えたことってなかなか忘れないですからね。

だから『習うより慣れろ』なんですね！

みんなで土練りしてから、いよいよ湯呑みづくりです。

粘土は焼くとかなり小さく縮んでしまうので、作る時には大きめにひきます。

まず『土どり』(湯呑みを作る分量の粘土を決めます)



そして中心に穴をあけて・・・



「ぐいっ」とひろげて・・・



「そおっ」と伸ばす・・・



きれいにひくコツは『あせらず丁寧に、やさしくさわる』ことですね。

均等に粘土が伸びていかないと、ぐにやぐにやと暴れまわります(+o+)きゃ~

みなさんの力作です！



あとは底の部分を削って高台を作れば立派な湯呑みになります。

電動ろくろで作品をひくのは、あと2回。

次回は飯椀に挑戦です。

さあて、どんな作品が出来上がるか楽しみですね♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2012年1月19日 09:07 |
